

⑮ 考案の名称 傾斜付卓上切断機

⑯ 実 願 昭61-144301

⑰ 出 願 昭61(1986)9月19日

⑱ 考 案 者 牛 渡 繁 春 福島県原町市北長野字南原田70番地 株式会社日立工機原町内

⑲ 考 案 者 佐 藤 正 之 福島県原町市北長野字南原田70番地 株式会社日立工機原町内

⑳ 出 願 人 株式会社 日立工機原町 福島県原町市北長野字南原田70番地

㉑ 実用新案登録請求の範囲

ベースに被切断材を支持するバイスを固着し、前記ベースの後方にベース上面に対し、左右に傾斜自在にヒンジを軸支し、ヒンジとベースを固定する手段を設け、前記ヒンジの上端に、前記ベースに対し揺動自在にハンドルを有するアームを軸支させ、前記アームに固着したギヤケースに、モートル軸とこの刃が平行になるようモートルハウジングを接続させ、モートル軸とセカンドシャフトを直交させ、前記セカンドシャフトと平行にのこ刃を有するスピンドルを配置させ、前記軸類を回転可に支持すると共に、ベベルギヤ、ギヤ等の伝達手段により、モートルからの動力を伝達し、スピンドルを回転可にしたことを特徴とした傾斜付卓上切断機。

図面の簡単な説明

第1図は本考案になる傾斜付切断機の一実施例を示す卓上丸のこの側面図、第2図は第1図の背面図、第3図は動力伝達部の断面図、第4図はのこ刃を右側に傾斜した時の正面図、第5図は従来例を示す正面図である。

図において、1はベース、2は被切削材、3はバイス、4はヒンジシャフト、5はヒンジ、6は長穴、7はネジ、8はシャフト、9はモートルハウジング、10はギヤケース、11はアーム、12はモートル軸、13はベベルギヤ、14はセカンドシャフト、15はベベルギヤ、16はギヤ、17はスピンドル、18はギヤ、19はのこ刃、20はハンドルである。

オ 2 図

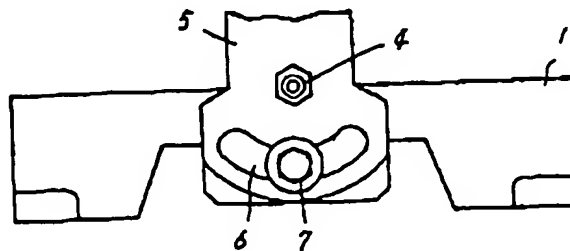


図 1 \*

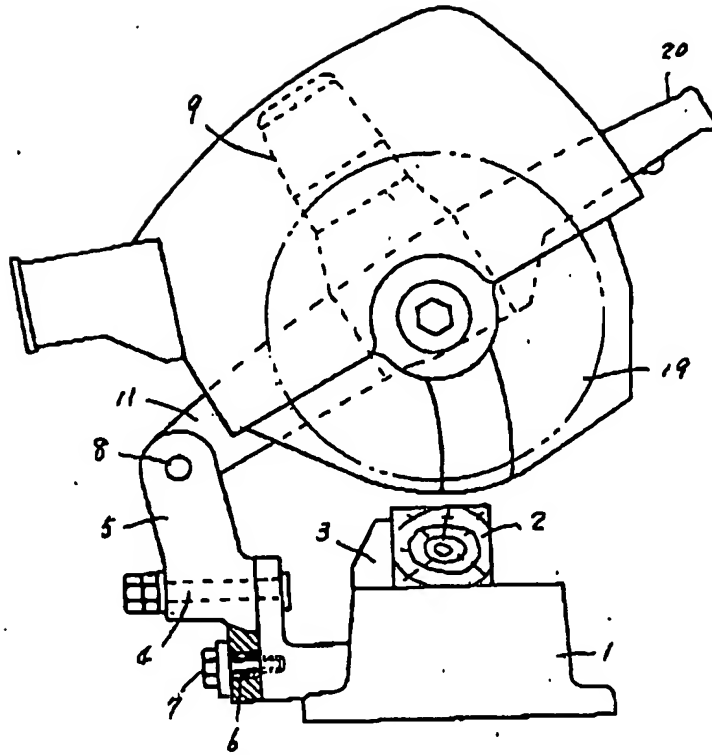


図 4 \*

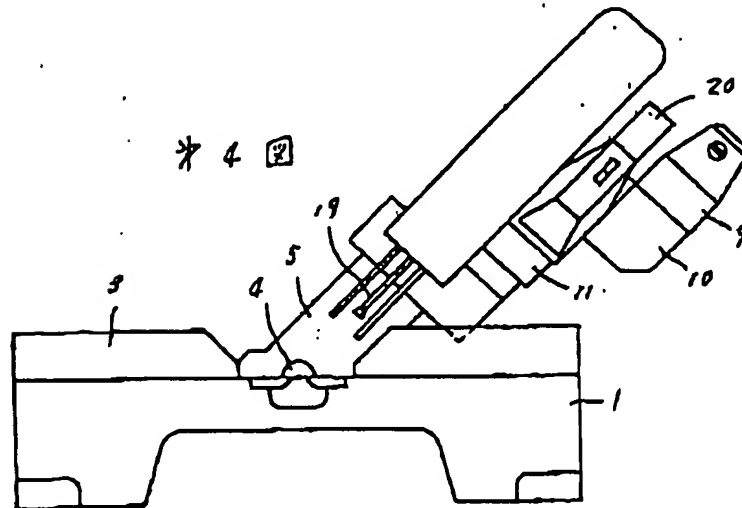


図 3

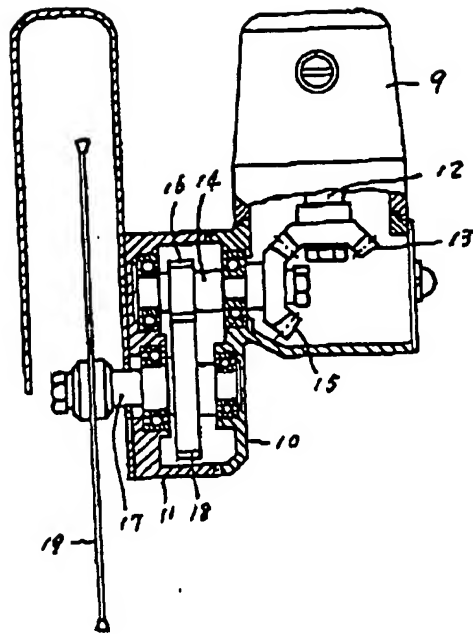


図 5

